

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	脳神経疾患における漢方薬の有効性に関する研究
研究期間	当院病院長許可日 ～ 2027年12月31日
対象患者	1999年1月1日～2025年12月31日までに島根県立中央病院 脳神経外科、神経内科に入院した患者さん
研究機関の名称	島根県立中央病院
当院研究責任者	脳神経外科 井川 房夫
意義・目的	脳神経疾患領域で、様々な症状に対する漢方薬の効果を判定し、有効性と臨床的使用方法の改善点等を明らかにすることを目的とします。この目的が達成されれば、脳神経疾患患者さんにとって、福音となります。
研究内容	脳神経外科、神経内科に入院した患者さんの年齢、性、既往症、採血データ、病名、術式、合併症、入院時神経所見、CT、MRI画像診断、症状の変化の有無、退院時転帰、投与された漢方薬（投与期間、種類）等を調査し、投与と症状の変化の関連性を統計学的に検討します。
利用・提供する試料・情報の項目	入院時年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、入院日、入院時 Japan coma scale (JCS) ^{*1} 、Grasgaw coma scale (GCS) ^{*2} 、病名、術式、合併症、経口摂取量、看護記録、入院時神経所見、CT、MRI画像診断、術後感染症の有無、退院時転帰、投与された漢方薬や他の薬剤（投与期間、種類）退院時転帰、退院時 mRS、6か月後 mRS、既往症、合併症、血液データ、他の投与薬物 等 ※1JCS：日本の意識障害レベル分類 ※2GCS：世界の意識障害レベル分類
試料・情報の他機関への提供有無	<input type="checkbox"/> あり 提供方法： 海外の機関への提供 <input type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> なし
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文で公表予定です。
備考	

***** お問い合わせ先 *****
島根県立中央病院

研究責任者：脳神経外科 井川 房夫
電話：0853 - 22 - 5111（代表）

事務担当：臨床研究・治験管理室
電話：0853-30-6590（直通）
